

令和4年度

都城市立高城小学校
学校評価書



I 確かな学力

【4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

項目		評価結果			成果（○）と課題（●）	学校運営協議会委員 コメント	評定
		児童	保護者	教職員			
1 日々の 授業改善と組 織的取組	学習中の姿勢 の指導の徹底	3.0		2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導週間では、全学級で立腰指導に取り組むことを共通理解し、学習指導週間後は、立腰指導についての振り返りを行うことで、次時の学習指導週間へ生かしながら継続指導を行った。また、立腰の姿勢とはどのような姿勢なのか掲示資料で具体的に確認するとともに、日々の指導の中でも掲示資料を活用し、指導の徹底に努めた。その結果、4月当初より立腰姿勢が定着した児童が増加してきている。特に、授業の始まりと終わりは、全学級で必ず立腰の姿勢をとることができている。 ● 立腰姿勢が崩れてしまったり、文字を書く活動になると立腰の姿勢が崩れたりする児童が学級で数名程度おり、今後も継続的な指導を行っていく。また、児童に合わせた机の高さの調整もこまめに行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の雰囲気がとても落ち着いています。これまでの先生方の指導の成果が出ていると思います。 ○ 特に高学年になると身長が生じるので机の高さの調整を、ぜひ実施してください。 ○ 立腰指導に学校全体で具体的に取り組んだ成果が児童に現れていると思います。 	3
	授業改善の 「4+4のチェックポイント」を 意識した授業 改善	3.4	3.6	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「論理的思考力を高める授業の在り方～協働的な学びの実現を通して」という研究主題の下、全学級担任が1回以上の研究授業に取り組み、授業改善に努めた。また、6学年では国語と算数を教科担任制とし、担当する教科数を減らすことで受け持ち教科の授業改善に集中して取り組む事ができた。 ● 協働的な学びを取り入れながら、「考えさせること」と「教えること」を明確にした授業力については、今後も継続して研修し、スキルアップしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生になると、専門教科ごとに先生がかわるので、児童も授業方法の変化に対応しやすいと思います。 ○ 考えさせることは自我意識の向上のために重要なことだと思います。 ○ 創意工夫がなされ、児童が集中して取り組んでいると思います。 ○ 考える習慣がついてきて 	

						いると思います。
2 確かな 学力の 育成	チャイムで始 まり、チャイム で終わる授業 の徹底			3.1	○ 教師自身がチャイムによる授業開始・授業終了を意識して実践できた。また、児童に対する日常指導も全学級で徹底して取り組んだことで、チャイムの合図とともに全校に「静の時間」がしっかりできるようになった。	○ チャイム時の静の時間が十分徹底できていると思います。
3 読書の 推進	図書館サポー ター（ひよこの 会、まねきねこ の会、図書委員 会）の活用によ る読書意欲の 喚起	3.1	3.6	3.3	○ 毎月第3・第5週の火曜日の朝の時間を「読書の時間」に設定し、読書の機会を確保した。自分の読みたい本を読むだけでなく、「まねきねこの会」「ひよこの会」などの図書ボランティアや図書委員会の児童による読み聞かせを実施することで、様々なジャンルの本に親しむことができた。 ○ 図書館サポーター企画による図書イベントにより、図書室の本の貸出し冊数を増加させることにつながった。開催された図書イベントは次の6つである。（スイミーの世界・大玉ころがし・おぼけはがし・あいさつシール・宝探し・運勢占い） ○ 学級では、週に1回は図書室利用の時間を確保したり、国語科で学習した作者の書いた本を図書館サポーターから紹介してもらったりしたことで、読書意欲も喚起された。※本年度の図書貸出冊数は、16,440冊（R4.12.20時点）	○ 一人あたり30冊位の読書量ですので、活動効果は大きいと思います。 ○ 読み聞かせは、興味を示して集中して聴いていると思います。 ○ とてもよい結果であり、図書館サポーターの活用が効果的だと思います。
4 ICTの 効果的 な活用	「指導の個別 化」と「学習の 個性化」を踏ま えた個別最適 な学びの指導 の充実	3.5	3.3	2.9	○ スライドやドキュメントを使って発表資料を作成したり、ジャムボードを活用した話し合い活動を取り入れたりするなど、アプリやソフトの活用により学習活動を工夫することができ、個別最適な学びの指導を充実させることができた。 ○ 様々なアプリやソフトを授業の中で活用したことで、児	○ 児童が最も得意とする分野だと思います。先生方も頑張ってください。 ○ 教育的な機器やソフトの導入で児童がさらに意欲をもってきていると思います。

					<p>童自身も探究活動や活動後にまとめを作成する際に、自らその手段を選択する幅を広げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 習熟の時間や家庭学習でキュビナを活用することにより、児童一人一人の実態応じた学習に取り組ませることができた。● 学級担任のICT活用力に個人差があるため、ICTを効果的に活用した授業スキルを学ぶための研修を検討していく。		
--	--	--	--	--	--	--	--

Ⅱ 豊かな道徳性の育成

【4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

項 目		評価結果			成果（○）と課題（●）	学校運営協議会委員 コメント	評 定
		児童	保護者	教職員			
1 道徳教育の充 実、人権教育 の充実	言葉遣いの指導徹底による児童の変容	3.3		2.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丁寧な言葉遣い、相手の気持ちを考えた言葉遣いができるよう日常的に指導を行ってきた結果、児童の意識も高まってきており、友達の名前に「くん」「さん」をつけて呼ぶことができるようになってきている。 ● 正しい言葉遣いがまだ十分にできていない児童もいるので、正しい言葉遣いが人間関係をよくしていくことにもつながることを、道徳や学級活動の授業をはじめ、常時指導で継続指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい言葉の遣い方、相手を思いやる気持ちが向上していると思います。道徳の授業と実践がかなり効果を上げていていると思います。 	3
	「いのちの授業」の実施と人権意識の向上となる取組の推進	3.3		3.4	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育に関する研修と人権教育に関する研修を実施し、2学期からの授業実践に取り組んだ。また、11月の日曜参観は、人権に関わる授業を全学級で行った。 ○ 毎月一回、「心ぽかぽかデー」を朝の時間に設定し、人権や命の大切さについて映像や絵本を通して考える機会を設け、命の大切さや人権意識の向上に努めた。 	
2 基本的な生活態度の育成	あたりまえ7指導の徹底 (身だしなみ・無言で動く・時間を守る・あいさつ・言葉遣い・トイレのスリッパ・廊下歩行)	3.3	3.2	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の様子緊急事態宣言」を発令し、「無言移動」「時間を守る」「あいさつ・会釈」「言葉遣い」に絞って全体指導を行った。その後、各学級でも継続指導をしたことで、「無言移動」「時間を守る」「あいさつ・会釈」「言葉遣い」についてはより良い方向へと改善が見られた。 ○ 「無言移動」については、担任が引率して直接指導をしたり、担任以外も指導をしたりすることで、どの学級も「無言移動」が定着してきている。 ● 「トイレのスリッパ並べ」や「正しい言葉遣い」については、今後も継続指導に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレが新しくなっているので、使用の仕方、清掃等、継続して指導をお願いします。 ● 挨拶はある程度できていますが、進んでできるようになってほしいと思います。 ○ 家庭での生活習慣が大事です。 	

3 特別活動の充実	異学年交流の工夫や幼稚園・中学校・高校との交流活動の充実	3.6	3.3	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 縦割り班（異学年でのグループ）を活用した清掃活動、読み聞かせ、花いっぱいプロジェクト等の活動を実施し、異学年の児童が交流できる場を昨年度よりもより多く設けることができた。 ○ 5・6学年の家庭科の授業では、高城高校と連携し、ミシン学習を実施した。高校生からミシン操作の支援を受けながら作品を制作し、ミシンを扱う技能の向上を図ることができた。 ○ 1学年の生活科の授業では、高城幼稚園・高城保育園・さかえ保育園とのおもちゃ祭り交流会を実施できた。3学期は、園児の1年生の授業参観を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世代の違う人達と交流できることは、自分が中学生、高校生になった時の交流意識の向上につながると思います。 ○ コロナ禍で活動が難しい中、今後も気を付けて活動を続けてもらいたい。 ○ 今後更に交流が活発になることを期待します。 ○ 様々な段階での交流は、児童相互の成長にとって意義深いと考えます。事前の計画等、大変でしょうが今後お願いします。 	
4 特別支援教育の充実	ハートフル委員会の開催といじめ不登校の実態把握及び対策の徹底	3.2	3.3	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月、「心のアンケート」と個別の「教育相談」を実施し、全職員での対策委員会を行うことで、児童の実態把握や実態等について職員間で共通理解を図りながら対応することができた。また、教育相談をしっかりと実施することで、大きないじめや不登校などの事案は見られない現状である。 ○ 事案が発生した場合は、学年や生徒指導主事、管理職と共に組織的に対応し、事態悪化を防ぐことができた。また、外部機関とも連携しながら事案対応をすることができた。 ● 不登校傾向の児童、登校の遅い児童が数名おり、保護者との連携をはじめ、外部機関の協力も検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該児童にとっては人生を左右する大事なことだと思います。慎重な対応をお願いいたします。 ○ 児童個人個人と真剣に語り合える機会をさらに増やしてほしいと思います。 ○ 不登校児童に対する指導は難しいと思いますが、児童の立場で考えていただきたいと思っています。 	

Ⅲ 健康な体と心の育成

【4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

項 目		評価結果			成果（○）と課題（●）	学校運営協議会委員 コメント	評 定
		児童	保護者	教職員			
1 体力向 上プラ ンに基 づく運 動の日 常化	柔軟性の日常的な指導	2.6		2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の時間や体育時の準備運動として各クラスで柔軟性を高めるストレッチ運動に取り組み、12月に柔軟性を再測定した結果、6学年のうち5学年の柔軟性が高まった。 ○ 今年度、体育委員会で「高城ストレッチ」を作成し、次年度より実施予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高城ストレッチの効果を期待します。 ○ 柔軟性に注目した取組の成果が出てきているように思います。 	4
	体育の授業における運動量の確保、体力向上プランの確実な実施と個への対応	3.4	3.3	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級体育をより多く実施できるように計画したり、運動量を確保するための活動や場づくりを工夫したりして、十分な運動量を確保する体育の授業を行うことに努めた。 ● 本校の課題である柔軟性改善に向けた取組については、体力向上プランをもとに、今後も継続していく。また、withコロナにおける体育科学習の在り方を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナは従来の疫病とは異なり、変異周期が速く、集団免疫効果が出ない厄介者です。今後とも検討をお願いいたします。 ○ コロナ禍ではありますが、十分な運動を確保してほしいと思います。 	
2 基本的な生活習慣の育成	家庭との連携による「早寝・早起き・朝ご飯」「整理整頓」の指導	3.1	3.5	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業前に「早寝・早起き・朝ご飯」に関する児童への指導を行うとともに、学校保健委員会にて保護者への啓発を行った。今後も、保護者・児童への指導や呼びかけを工夫・継続し、意識付けを図っていく。 ○ 下校前に机の引き出しの中の整理整頓をする時間を確保したり、ロッカーの整頓についてこまめに呼びかけたりするなど、整理整頓することについて繰り返し指導することで、児童自身の意識も高まってきた。 ○ 栄養教諭を講師に招き、「朝ごはんの大切さ」「栄養バランスのとれた食事の大切さ」等、専門的立場からの食育の授業の充実を図ることができた。 ● 学校と家庭とで協力しながら基本的な生活習慣を身に 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養指導は特に大切だと思えます。 ● 基本的な生活習慣の向上が更に必要だと思えます。 	

					付けさせるために、授業で取り組んだ内容や家庭へのお願いを学級通信、保健だよりなどで呼びかけているが、学校からのメッセージが保護者全員へ十分届いているとは言えない現状がある。		
3 感染症 予防・ 防止対 策の徹 底	感染状況に応じた各種行事や教育活動の見直し、健康カードの確実なチェック、保護者への対応協力依頼、場に応じたマスク着用と消毒・換気	3.2	3.5	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎朝、児童の健康状態を健康チェックカードで把握し、場に応じたマスク着用と消毒・換気を確実に行うように努めた。また、こまめに児童の体調を確認し、体調不調が見られる児童には迅速に対応し、校内での新型コロナウイルス感染症の拡大を防止できた。 ○ 参観日等を実施する際は、事前に参加人数や地区別参観の時間設定、健康確認表の提出等の感染拡大防止対策を保護者に連絡し、当日は、児童玄関・教室前等の消毒や体温計設置、無言参観の依頼表示、受付時に確認表提出等、感染レベルに応じた感染症拡大防止対策を講じることに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症拡大防止対策を十分に実施されていると思います。今後とも継続してください。 ○ 参観日での感染症対策は良いと思います。 ○ かなり効果的な対応がされており、意識が高まっていると思います。 ○ 感染症対策をしながら教育活動の実践に頭が下がります。今後ともよろしくお願ひします。 	

IV 家庭・地域との連携・協働の推進

【4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

項目		評価結果			成果（○）と課題（●）	学校運営協議会委員 コメント	評 定
		児童	保護者	教職員			
1	ふるさと教育の推進 米作り体験や職業講話・体験等の実施、地域の教育資源や人材を活用した授業の充実	2.9	3.5	2.9	○ コロナ禍の中、地域の教育資源や人材を活用した授業として下記内容を行うことができた。 ・リサイクルプラザ、クリーンセンター見学 ・歴史学習 ・味覚の授業 ・非行防止教室 ・花育（アレンジフラワー体験学習） ・食育（カルビー出前授業）（栄養教諭） ・高城地区の今と昔 ・高城地区に伝わる伝説 ・高城地区の農業 ・保護者講師によるキャリア教育 ・戦争体験語り部講話 ・米作り体験 ・町探検 ・さつまいも栽培体験	○ 多種多様な職業、伝統等の知識を習得できてよかったと思います。 ○ コロナ禍での活動であるが、良くできていると思います。 ○ よく計画され、効果を上げていると思います。	4
2	安心・安全な学校づくり 魅力ある参観授業と学級懇談の実施による参観率・懇談率アップ		3.3	2.8	○ コロナ禍の中ではあるが、12月までに6回計画していた授業参観については、地区別にしたり、時間制限をしたりして4回実施することができた（4月・5月中止）。10月のオープンスクールでは、参観者を分散（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）させ、2日に分けて実施した。 主な授業参観への参観率は下記のとおり。 6月83%（昨年度91%）・10月72%・11月90%（昨年度89%） ● 学級懇談会については、感染症拡大防止対策として予定していた3回のうち1回しか実施することができなかった。	○ 参観日やオープンスクールの実施ができて良かったと思います。工夫をされて実施されていました。 ○ オープンスクールは、かなり効果的であったと思います。	
	各種訓練の実施や定期的な安全点検の実			3.2	○ 毎月1回、校内・校外の安全点検を全職員で分担し、計画通りに実施することができた。修繕が必要な個所で修理ができる場合は修理し、市教委の対応が必要な個所につい	○ 校舎等、古くなっていく中、施設管理ができていると思います。 ○ 安全点検を計画的に実	

	施				<p>ては即依頼しながら、校内外の施設管理に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 不審者対応避難訓練では、警察官が不審者役となり実践型訓練を実施した。訓練後は、不審者対策として、児童棟の各階と管理棟1階にさすまたを2本ずつ、管理棟2・3階にさすまたを1本ずつ設置し、不審者対応への備品設置をした。 	<p>施されることが児童の安全意識の向上につながると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大事な訓練で緊急時に対応しやすくなると思います。
	コンプライアンスに関する研修の実施と日々の実践			3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的にコンプライアンス通信を作成・配付したり、長期休業前はコンプライアンス研修を実施したりすることで、全職員の法令遵守に対する意識向上と啓発に努めた。 ○ 「酒気帯び運転等の防止」「体罰・暴言等の防止」「セクハラ・わいせつ行為防止」「パワハラ等の防止」「個人情報流出防止」「情報モラル」等、定期的に自己チェックする機会を設け、意識向上と啓発に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員、警察、市職員等の法令違反は報道の対象となりますので、意識の向上に今後も努めてほしい。 ○ かなり徹底していると思います。
3 学校運営協議会の充実	子ども達の成長につながる取組を協議する場の確保と地域人材の発掘及び連携・協働の推進			2.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会委員と学校との熟議の時間を十分に確保するために、学校運営協議会開催日前に会長との事前打合せを行った。 ○ オープンスクールでは、保護者を講師としたキャリア教育の実施をはじめ、学校運営協議会委員が講師となって「高城地区に伝わる伝説」「高城地区の今と昔」「高城地区の農業」の授業を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後とも協力させていただきます。 ○ 学校運営協議会とともに、良い活動ができています。